

## 常吉部落有文書概要

- 1: 文書群番号 075010
- 2: 文書群名 常吉部落有文書
- 3: 出所 常吉村
- 4: 家業・役職等
- 5: 地名 摂津国武庫郡常吉村／兵庫県武庫郡常吉村／武庫郡武庫村常吉／尼崎市常吉／尼崎市常吉1丁目ほか
- 6: 行政区分 ①幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市、②幕府領／旗本佐藤氏(信則系)知行所／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
- 7: 歴史 常吉村は、市域北西部、武庫川沿いに位置する。史料上の初見は文亀元年(1501)「榎葉近江守貞連申状」(賦草案之引付所収／室町幕府引付史料集成)で常吉名とある。北に隣接する常松と同じく名田の開発領主名に由来する地名と考えられる。  
村高は慶長10年(1605)に94石余、元禄15年(1702)に176石余、天保5年(1834)に215石余であった。近世を通じて尼崎藩と旗本佐藤氏の相給であり、佐藤氏知行所は14石余であった。  
水利は、武庫井組に属した。氏神は須佐男神社(近世には牛頭天王社)、寺院は浄土真宗大谷派常願寺。
- 8: 伝来 市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和50年に常吉社会福祉協会が史料館へ寄託。
- 9: 史料入手先 常吉社会福祉協会
- 10: 点数 447点(目録件数305件)
- 11: 年代 文禄3年(1594)～昭和37年(1962)
- 12: 構造と内容 本文書群は明治・大正期の史料が大半を占めるが、一部近世史料が含まれている。  
近世史料は、検地帳等の土地関係史料、武庫井組を中心とした武庫川水利関係の史料などがある。  
近代史料は、地租改正等の土地関係史料、近代(大正期中心)の村政関係史料(農業・地主小作関係、小学校費関係)、常願寺・須佐男神社等宗教関係の史料がある。  
武庫川筋水利関係については、近代以降も史料の数が多し。なかでも明治4年(1971)に申請された武庫川筋高瀬船運送の願い及びその関連史料は、舟運に関する史料が少ない武庫川において興味深い内容である。
- 13: 関連史料 櫻井俊次氏文書ほか
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央